

今シーズンのインフルエンザの状況

2019年5月7日

(4月7日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0	0	2	1	11	29	50	157	510	451	492	401	293	171	129	84	75	72	44	18	12	5	9	3	2	3021
インフルエンザB	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	3	3	1	0	0	2	1	2	4	2	1	2	7	4	8	5	51
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	12	34	49	29	27	21	4	12	2	2	2	3	0	0	1	1	0	0	210
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総診断数	0	0	1	0	0	0	0	6	1	12	31	59	169	544	503	524	429	314	175	143	87	79	78	49	19	14	13	14	11	7	3282

5月5日までの報告のまとめです。20の医療機関より3282例の報告がありました。2週になり3学期が始まり、小児の報告が増えて、インフルエンザAの地域での流行が始まりました。2週から4週にかけて報告数のピークがあり、5週よりは大きく減少しています。臨床診断はほぼインフルエンザAです。右下のグラフの様に、インフルエンザBは隔年で流行しており、今シーズンはインフルエンザBの報告数は51例と少なく、クラス内の小流行の報告はあっても、地域内の大きな流行にはなりません。

3月までの岡山県のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm(いわゆる新型)16例、AH3(香港型)31例、B(山形系統)2例 計49例と報告されています。2月以後はほぼAH3(香港型)でした。総社市での初期の流行株も、AH1pdmだったと思われます。咳から始まりその後発熱が続くという症例が多く、全体的に軽症でワクチンの効果もあったように感じています。2月以後、インフルエンザAに2回患する症例が報告されるようになりましたが、幸い大きな流行になることなく春休みとなり、今シーズンの流行は終息しました。

中学校	1873	266	14.2%
小学校	4,042	687	17.0%
幼稚園	854	155	18.1%
こども園	274	45	16.4%
合計	7,043	1,153	16.4%

3月25日までの教育委員会からの報告は、右の表のように1153人でした。毎年1500人前後の報告があるので、今シーズンは少ないです。以前に比べて、感染予防対策への理解も高まり、体調不良の場合は無理をせず休むことに抵抗が少なくなったこともあるのかと思います。

インフルエンザは冬だけの病気ではなくなりました。海外からの輸入例や、旅行やイベントなどでの感染例もあります。

特に大型連休明け、発熱と感冒症状の症例にはインフルエンザを鑑別診断に入れて、周囲の感染状況やと渡航歴などを問診することが大切です。

